

◆ NPO足もみ講座の主な活動リスト

■ 実施場所	■ 地区	■ 会員名	■ 主な活動日
● 平成30年4月1日～平成30年8月30日			
○ 若石足療 あしもみやさん	静岡県浜松市	菊池 幸子	4月 1日
○ 受講者の自宅にて	沖縄県北中城村	仲本 一美	5月 24日
○ 若石足もみ処 かおっちゃん	高知県高知市	片岡 かおり	7月 12日
○ 東京新宿支部	東京都新宿区	古澤 裕子	7月 17日
○ 男女共同参画センター「ていりる」	沖縄県那覇市	稲盛 盛信	7月 18日
○ 若石足療あしもみやさん	静岡県浜松市	菊池 幸子	7月 26日
○ 東京新宿支部 「わくどきサマーセミナー」	東京都新宿区	古澤 裕子	7月 27日
○ 自然療法トータルケア foot Sun	兵庫県尼崎市	山内 千代	8月 21日

絵本を活かした「足から元気力」セミナー開催 NPO地球足もみ 東京新宿支部 古澤 裕子(埼玉県)

7月27日にNPO講座を行いました。毎年恒例の「わくどきサマーセミナー」の講座の報告です。

場所：新宿区内小学校
参加者：13人(親子5組含む)



今年も「足から元気力」のテーマで開催いたしました。今年は親子参加が多く、絵本「はじめてのからだえほん」や足の骨の模型を使い、骨格の説明をし、足ほぐし・足もみをし、足ゆびジャンケンなどをして盛り上がりしました。導入で絵本の中の「からだちず」で、自分たちのからだのしくみを知り、足にもからだのちずがあることにつなげ、反射区図表と足の骨格模型を使って説明しました。子どもたちだけでなく、大人も興味津々で絵本や骨の模型に見入っていました。最後に自分の足にお礼のてがみを書きました。

絵本『はじめてのからだえほん』は、からだのふしぎを楽しく学ぶ構成で、心臓の動きや腎臓のしくみ、食べもののゆくえなど、かわいらしい絵でからだの仕組みやうごきや働きまで、わりと細かく、しかもわかりやすく説明され、使い方によって読み方、ポイントを変えたりすれば、年代問わず、小さなお子さまから大人の方でも楽しくからだのしくみを知ることができます。講座開催時におすすめの一冊です。

はじめてのからだえほん
発売元：PIE International
(パイ インターナショナル)
文・デザイン：村田 弘子
監修：山田 真
(八王子中央診療所理事長 小児科医)
絵：てづか あけみ



NPO法人 地球足もみ健康法実践普及協会
本部所在地：東京都世田谷区豪徳寺1-22-6-3F お問合せTEL：03-5451-0092
協会ホームページ <http://www.npo-ashi.net>

NPO法人地球足もみ健康法実践普及協会 URL <http://www.npo-ashi.net>
NPO ASHIMOMI NEWS 2018年 秋季号
NPO 足もみニュース
2018年9月1日 第52号

健康日本21 PR用リーフレットが公開されています！

健康日本21とは、健康増進法に基づき策定された「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針（平成15年厚生労働省告示第195号）」で、国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向や国民の健康の増進の目標に関する事項等を定めたものです。本方針は、平成24年7月10日厚生労働省告示430号により改正され、現在、「健康日本21（第2次）」を実施中です。

多くの健康づくり関係団体はそれぞれ民間の立場で独自の活動を進めていますが、「健康日本21」が提唱されたのを機に、連絡協議することにより国民運動としての一層の広がりや深みを持つことが可能となる。

このような観点に立ち、「健康日本21」に賛同する関係団体が一堂に会し「健康日本21推進全国連絡協議会」を設立されています。

NPO 地球足もみ健康法実践普及協会は、リフレクソロジーの組織では、唯一、健康日本21推進全国連絡協議会に参画しています。

健康日本21の公式WEBでは、「健康日本21（第2次）」のPR用リーフレットが公開されています。当協会の名称もリストに載っておりますので、PR様にご利用になりたい方は、健康日本21のWEBにアクセスしてプリントアウトしてください。



NPO地球足もみの正会員限定プレゼントのお知らせ 【先着12名様/10月末まで】

スマート・ライフ・プロジェクトから配布された草薨剛さんのポスターを先着12名様にプレゼントします。基調カラーは3色です。お申し込みは、ご希望のカラーを記入し、FAX、又はメールでお願いします。(お電話のお申し込みは無効です)



▲ オレンジ3枚 ▲ ブルー3枚 ▲ グリーン3枚

学校で実施された足もみ講習会 NPO地球足もみ 岡谷支部 八幡重則(長野県)

本格的な夏の到来を告げる、岡谷市駅前商店街の恒例行事、「岡谷キツネ祭り」の歴史は本年で66年目となり夏の風物詩として定着している。この祭りに私が若石人として関わりを得られたのは、当時私が青年会議所メンバーであり、商店街に先輩方が大勢オーナーとしておられた故のご縁である。定かではないにしても約20年位は長野県内の若石仲間の皆さんにご協力いただきながら、若石の名前と技の体験を多くの来場者に体感して頂き、確実にファンは増えている。毎年お顔を見せて頂く方々も定着し、うれしい限りである。できる事なら若石健康法の資格取得まで関心を高めて頂ければ…と望んではいるが…。今回キツネ祭りにご参加いただいた若石プロの皆様は、上條里子さん、両角弘さん、植松吾貴彦さん、そして、私、八幡重則4人です。

当時の天気予報では、台風の影響が懸念され、午前中は、その件で大会実行委員会の判断を見極める状況もありましたが、午前10時過ぎに決行が決まり、我らも臨戦態勢入りはしたものの、足もみ希望のお客様も少なく、ほとんどの方は毎年見える常連さんで中には、この祭りで足もみを始めた初期のころから毎年来て下さる女性で、当初は生活上の疲れや、虚弱体質が原因なのか？私自身も気がかりであった女性が、最近は健康的な雰囲気醸し出し、足もみを通して別人のように明るい雰囲気になられた彼女を拝見し、心が温かくなって、思わず久しぶりに彼女にご挨拶をさせて頂き、そのことをお伝えした。

キツネ祭りでの足もみボランティアを通じて数多くの出会いがある中で、私の心に刻み込まれた特別に暖かいドラマである。

先日、足もみボランティアで新たな需要が舞い込んできた。それは、岡谷市社会福祉協議会の事務局より高齢者の集まる民間のデイサービスセンターでの足もみボランティアである。指定日の日時に伺った処、そこは民家を借りた施設で後期高齢者(90歳代)のご婦人方、限りなく百歳に近い方々の集まりで、私自身はそんな高齢のご婦人の足に触れた経験もなく、かなり緊張しましたが、何ら問題も生じず、ご婦人方曰く「足が軽くなったよ」、「ありがたいわ」、「これなら歩いて家まで帰れるよ」と冗談半分に喜ばれたお顔を思い出し、私自身の新たな体験となった。

岡谷 **きつね祭り**



深川美楽市「足もみテント」— 加油台湾花蓮！

NPO地球足もみ 清澄白河支部 金澤南都子さん

2018年4月22日の深川美楽市「チャリティー足もみテント」今回、足から元気仲良くしたい場所それは、若石健康法の本部もある「台湾」！

2018年2月6日に台湾東部の「花蓮」で地震が起こりました。若石健康法 台湾リフレクソロジーの父「呉若石神父」がいらっしゃる教会は、この「花蓮」から海岸沿いの道を走った先にあります。教会に直接被害はなかったそうですが、花蓮には若石健康法本部の李先生のサロンがあります。そこで今回は、深川美楽市と台湾花蓮が足から元気につながれたらうれしいなと思い、オリジナル日本手ぬぐいのプレゼント製作し、李文滔先生にプレゼントすることにしました。

日本手ぬぐいのイラストは「小池アミイゴさん」に作っていただきました。アミイゴ兄さんとは友人からご縁をいただき、シャムロック堂のイラストなどを以前描いていただいた関係です。「情熱投げてください！」という頼もしい会話から始まりました。そして、手ぬぐいのキャッチフレーズ「相信足愛」(足愛を信じる)、とても素敵な言葉を若石日本分会の「柏村学先生」から教えていただきました。

印刷関係初心者の私を励まし、なんとか作品にくださった「イメージマジックさん」どうもありがとうございました。

6月台湾に行き、李先生とも親しい徐士傑先生経由で李先生のサロンの皆様へ記念品をお届け致しました。李先生からは、さっそく、ご丁寧にお客さまお一人お一人に記念品をお渡しした記念のショット写真を送って頂きました。感謝！



足もみボランティア 募集中！10/28(日) 三軒茶屋/東京

毎年恒例で行っております。特別養護老人ホームの「フレンズ祭り」で足もみブースを設定して頂きました。ボランティア足もみにご協力いただける方を募集中です。詳細は、以下の通りです。

日時：10月28日(日) 10:30~14:00

場所：特別養護老人ホーム フレンズホーム
(東急世田谷線三軒茶屋駅より徒歩12分)

内容：フレンズバザーで両足20分を800円で簡単施術
(内、500円を主催のフレンズ奉仕団に寄付、300円を施術者に還元)

ご連絡：お申込み、お問い合わせは、NPO地球足もみの「柏村」まで